

## 「第6回子宮頸がん予防活動奨励賞」表彰式開催

日時：2017年9月14日（木）16：00～18：00

会場：東京国際フォーラム ガラス棟（東京・有楽町）

当会議では、「子宮頸がん検診」と「子宮頸がんワクチン」のさらなる普及をめざし、2011年に『子宮頸がん予防活動奨励賞』を創設。これは、子宮頸がん予防活動の実績や成功例を広く公開することにより他団体等の活動に活かしていくため、子宮頸がん予防に取り組む団体・個人を表彰するもの。

2017年は第6回の募集を行い、子宮頸がん予防（検診とワクチン）の目覚ましい成果がある、活動が実践的で啓発のモデルになりうる、多角的で他領域との連携がおこなわれている、一般の人々との良好なコミュニケーション・アプローチをとっている、正しい医学的知識に基づいた活動である、などを選考基準とし、審査の結果、3件の表彰を決定。2017年9月14日（木）表彰式を開催、受賞団体やメディアなど約20名が参加した。

表彰式では、当会議議長 野田起一郎が「当会議は2008年11月に多方面の方々にお集まりいただき、子宮頸がんの征圧について議論を交わし、それを社会に提言していく目的に設立した。この会議のファンクションのひとつとして、6年前にこの奨励賞を設けた。子宮頸がんの啓発活動している方で、参考になるような活動を実施している個人・団体を表彰しようというもので、今回の表彰に至ったポイントについてはこのあと紹介していく。また表彰式と同時に、当会議が行っているアンケート調査で、子宮頸がん検診、予防活動がどうなっているのか、HPV予防ワクチンの接種についてはどうなっているのかを全国の自治体にアンケートしており、これは国内でも他には例をみない内容となっており、大変貴重な調査データとなっている。この集計結果の発表を予定しているので、こちらも今後ぜひ参考にさせていただきたい。」と挨拶した。

その後、各受賞者に議長より賞状と記念の楯を贈呈。続いて当会議実行委員 鈴木光明より受賞理由となった各受賞者の活動のポイントを紹介。これを受けて、当日都合により欠席された阿南里恵様よりビデオメッセージを放映した。「23歳の時に子宮頸がんとなり、その後ののちは助かったのですが、いろいろなことが以前と同様にできなくなってしまった。他の人たちにこのような思いさせてはならないと思い、がんの啓発セミナー、医療者向け研修会、高校・大学での「いのちの授業」、厚生労働省のがん対策推進協議会などで自身の体験談を語ってきた。今回の受賞は今後の励みとして活動を続けていきたい。」と述べた。続いて未来を守ろうプロジェクトの代表 埴祐美氏より「看護師や保健師をめざす学生として、同世代の人たちの健康を願い、活動している。私たちはちょうどHPVワクチンがメディアで騒がれ始めたころに接種をした世代。同世代の私たちが働きかけることにより、悲しい思いをする女性が少しでも少なくなることを願い、様々な働きかけをしている。まだまだ理解されていないことが多いけれど、活動を継続していききたい。」と今後の活動について話した。最後にチーム・アイジェンヌの代表 宮澤美恵子様より当日は仕事の都合で代理出席となったため、ビデオメッセージを放映した。「子宮頸がんの情報収集から始めたところ、早期発見のために子宮頸がん検診の重要性は理解していても、「恥ずかしい」「時間がない」といった理由で病院に検診に行く人が少ないことが分かった。八王子市内、都内を中心に啓蒙活動を続けてきた。また、ラジオへの出演、東京ガールズコレクションへの出展、ユーチューブ、ブログのなどで地道に活動を続けている。「あのとき少しでも早く検診を受けていれば」と思う人をひとりでも減らしたい、その人のみならず、周りの人の笑顔を守りたい、という思いのもと活動を続けてきた。若い女性だけではなく、男性にも理解が広がるように、今後もコツコツと活動を続けていきたい。」と述べた。

さらに、当会議が全国自治体に実施している「子宮頸がん検診受診状況」及び「子宮頸がんワクチン公費助成接種状況」についてのアンケート調査の2016年実施の集計結果報告と解説を、子宮頸がん検診については鈴木光明、HPV予防ワクチン接種については今野 良が発表した。

表彰式の最後に当会議実行2委員長 今野 良より「本日はありがとうございました。例えば乳がんを予防しよ

うとするのはなかなか難しく、検診で見つける事は出来るが、がんになってから発見することになる。しかし、子宮頸がんについては HPV 予防ワクチンの接種で予防することができる。がんになる前に予防できるという点ではとても有効なワクチンである。しかし、国内ではなかなか正しい報道がされないこともあって、理解されていない現実がある。今後は正しく理解されるよう、活動を続けていきたいと思う。」と子宮頸がん予防活動のさらなる継続・発展を願い、閉会した。

続く親睦会では、当会議実行委員の宇田川康博より挨拶があり、参加者同士による意見交換が行われた。

最後に当会議実行委員長の今野 良より、「今回は若い方の参加がとても新鮮であった。今後も若い方の活躍を希望したい。短い時間ではあったけれどもいろいろなお話がみなさまとできたこと、ここで表彰されたことをみなさんの誇りに思っていたきたい」と挨拶し締めくくった。

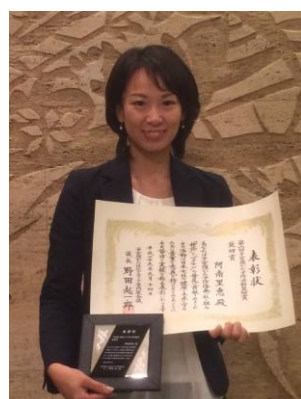
\* 受賞団体の活動ポイントはこちら

#### 【奨励賞受賞団体】

- 阿南里恵氏
- 未来を守ろうプロジェクト(代表 塙祐美氏)
- チーム・アイジェンヌ(代表 宮澤美恵子氏)



受賞者とともに



阿南里恵氏